

世界遺産通信

IN 本宮小学校

vol.10

令和5年12月

和歌山県世界遺産センター発行

～世界遺産学習全国サミット inたなべ～

自信を持って取り組んだ語り部

本宮小学校の4・5・6年生の皆さんの案内で湯の峯温泉～大斎原を歩きました。この季節になると、この地域は、朝の早いうちは熊野川と山の関係で霧深く、高台に上がると雲海が少し見えます。9時30分に集合した時点では、好天ではありましたが少し肌寒い1日になるかなと思ったのですが、歩いている間にヤッケを脱ぐなど絶好の熊野古道歩きとなりました。湯の峯温泉に到着すると、児童の皆さんに迎えていただき、早速、事前運動を私たちの前に立ち指導してくれました。おもてなしとして、参加者を細かく班分けし、各班に複数の児童が同行してくれました。紹介してくれるスポットで参加者を前に語り部をしてくださいました。湯の峰温泉の名所の一つ「つぼ湯」近くで温泉の歴史の説明を受けた後、熊野古道「大日越」に入っていました。途中、「湯峯王子」の説明を受け、そこから「鼻欠地蔵」までは急な上り坂となり、休憩をはさんで進みましたが、児童の皆さんは

元気でしっかり私たちをサポートしてくれました。「鼻欠地蔵」では、劇をして言い伝えを説明してくれ、上り坂が続いていたのを忘れて物語の中に身を置くことができました。「月見ヶ丘神社」で案内の後、しばらく下ると児童の皆さんから「ここから見えるのが大斎原です。」と聞いたときは、もうすぐなんだとホットする気持ちになりました。その後、大斎原の大鳥居で最後の案内を受けましたが、観光等で来られていた国内外のお客さんも案内に聞き入り、児童の皆さんもどこかしら一層力が入っているように感じました。最後に、地域で今も伝えられている「大瀬の太鼓踊り」を披露していただきました。大斎原に響き渡る太鼓の音と踊りを見させていただき、ゆったりとした時間の流れにじんわり温かい気持ちになることができました。時間をかけて、しっかりと語り部学習を重ねられ、実践を通して自分のものになっていったのだろうなと思いました。本当にお疲れ様でした。



大舞台で全力発表

12月9日(土)に和歌山県田辺市にある紀南文化会館で世界遺産学習全国サミットの本大会がありました。午後から、田辺市語り部ジュニア活動の実践発表として本宮町内の小・中学生が大ホールでこれまでの活動の成果を発表してくださいました。本宮小学校の皆さんは翌日行われるエクスカーションのコースである大日越えの魅力について教えてくださいました。湯峰温泉の歴史や、熊野古道に咲いている草花のこと、昔から伝わる鼻欠地蔵の劇などがありました。一人ひとりの発表に気持ちがこもっていてどれも観客の胸に刺さったのではないのでしょうか。国内外の観光客からも人気のあるコースについて詳しく知ることができて歩いた気分させていただきました。楽しい時間であっという間の15分間でした。ありがとうございました。



世界遺産全国学習サミット